

聞こえない理由はこれだった!

CNN生英語 高速リスニング 攻略法

英会話スクールでは先生と普通に会話できるのに、旅行先で聞こえてくるネイティブ同士の英語はまったく聞き取れない! TOEIC900点を取得したのに洋画を字幕なしでは聞き取れない! 今回の特集で、そんな悩みの原因をひとつひとつ解決していきましょう!

リスニング力を上げたいからと、速い英語をやみくもに聞き流してしまっている方、いませんか?

聞き流すだけで耳が変わって、速い英語が聞き取れるようになることはありません。

「高速英語」を理解できるようになる早道は、まず聞き取れない原因をつかむことです。そもそも単語力や文法力が十分でないなら、聞き取れるはずがありません。単語力とその発音を知識として持ち、その先に(あるいは同時に)、「音がつながる」「音が消える」「別の音に変わる」など、ナチュラルスピードの英語に顕著な音声変化を理解するトレーニングが必要となります。

本特集では、自分のリスニング力の弱点を探り、それを克服するトレーニング方法をご紹介します。

英文・和文作成: EE編集部

Nadia_Snopek@Shutterstock.com (pp. 49-52, 54-55, 63) / KittyVector@Shutterstock.com (p. 50) / Graeme Dawes@Shutterstock.com (p. 51) / lize_Lucero@Shutterstock.com (p. 51) / Black Creator 24@Shutterstock.com (pp. 53, 56-57) / Poi NATTHAYA@Shutterstock.com (p. 54) / Pensiri@Shutterstock.com (pp. 56-57) / Oxima@Shutterstock.com (p. 57) / AZAR KARIMLI@Shutterstock.com (p. 57)



STEP
1

なぜ、聞き取れないのか？

「英語が聞き取れない」という悩みを抱えている人は多いはず。しかし、ひとくちに「聞き取れない」と言っても、その理由はさまざまです。「なぜ、聞き取れないか」の理由は主に3つあります。

- ① 単語がわからない
- ② 単語は知っているが発音を理解していない
- ③ 単語は知っているが音の変化を理解していない

1 単語がわからない

これは母語の場合も同じですが、「まったく知らない単語」が使われていれば、聞き取れるはずがありません。そのため、ある程度、意識的に語彙の増強をしていくことがどうしても欠かせません。なお、ひとくちに「語彙」と言っても、一般に以下の2種類があるとされています。

passive vocabulary

パッシブボキャブラリー

簡単に言えば、「聴いたり読んだりした場合に理解できるが、自分で話したり書いたりすることはできない語彙」のことです。「認識語彙」とも呼ばれます。

active vocabulary

アクティブボキャブラリー

こちらは、「自分がアクティブ（能動的）に使いこなせる語彙」のこと（「運用語彙」とも呼ばれます）。単に、「見たり聞いたりした場合に、その意味を理解できる」だけでなく、実際にアウトプットする際に自由に活用できるレベルにある語彙です。

もちろん、全ての語彙を「アクティブ化」できれば理想的ですが、そううまくいかないのが現実だと思います。

リスニングおよびリーディングという「インプット」系の技能では、パッシブボキャブラリーの量がモノを言います。リスニング力・リーディング力を鍛える際には、まずはパッシブボキャブラリーの増強を図りましょう。「自分で自由に使いこなせるようにならなくても、まずはなんとなく意味がわかるレベルを目指せばいい」と考えれば、少し気が楽になりますよね？

